



副支部長兼事務局長  
外丸泰史さん



副支部長  
大場隆幸さん



支部長  
荒井浩司さん



理事長  
斉藤正行さん

## 介護事業を継続することにより

# 安心した老後生活を 過ごせる社会を実現するために

### 役割を持って連携する全国介護事業者連盟と 全国介護事業者政治連盟



#### 全国介護事業者連盟の 目的と活動内容

介護事業者には事業者の集まりや団体が数多く存在し、細分化されているのが今の現状です。介護は株式会社、社会福祉法人、医療法人などそれぞれで事業運営を行っていますので、おのずと法律やルール、税制も異なり、利害にもばらつきがあります。団体も社会福祉法人の介護団体や民間の株式会社の団体、そこからさらに派生して、サービスの内容ごとに特別養護老人ホームの団体、訪問介護の団体、デイサービスの団体などに細分化されます。我々はその横串を刺し、法人の壁やサービスの垣根を越えた横断的な全国組織としての連合会組織を作ろうと、2年前に設立いたしました。

介護従事者は全国で200万人いると言われていますが、いろんな団体に属していることによって、個々の団体の規模やネットワークが小さく、結果として発言力や発信力、政治力も高まっていけないという介護業界の現状があります。そこで我々が団結をして大きな塊となり、現場の声をしっかりと国に届け、現場視点での制度改正や報酬改定を迎えていく、そういった意見提言を行っていくことが、全国

介護者連盟を設立した目的です。具体的には、施設と訪問と通所の3つに分かれた委員会を作って、現場の方々から制度やルールに対する要望を挙げてもらい、取りまとめ、それを厚生労働省や関係省庁、議員の先生方にご相談して、意見調整をしていくことが主たる活動になります。

#### 各支部と群馬県支部について

設立して2年ですので、これを全国組織に拡大していく過程で、現時点ですでに一般の介護事業者の会員が約800社、事業所数としては7000事業所に入会いただいています。目標は1年かけて2万事業所、3年後には7万5千事業所を目指しています。これは全国に約24万事業所があると発表されており、2万ですので、2万で約10%、7万5千で約30%というシェアが見込まれ、これから1年で最も大きな団体に成長していくペースで拡大しています。

組織としても、全国47都道府県すべてに支部を置く体制を急ピッチで進めています。まずはブロック単位で北海道、関東、東海、関西、九州の5つの大きな支部を作りました。さらに、東北、北陸、北関東、中国、四

国といった支部を作ろうと準備中です。これと併せて、都道府県単位の支部を進めている中で、今年の4月に全国に先駆けて、都道府県単位の支部として初めての群馬県支部を設立しました。これをひとつのロールモデルとして展開していく予定です。

役割分担としては、本部は基本的に介護保険法に対しての現場の意見をしっかりと伝えていくことが一番の目的です。厚生省とのやりとり、法律改正であれば各議員の方々との相談になります。一方で介護保険事業は市長村事業になっています。全国の大枠は厚生省が決めています。その大枠に基づいて都道府県ごとに細かいローカルルールがたくさんあるので、そういったローカルルールの働きかけに対しては、それぞれの支部単位でいろんな働きかけを行っていくと考えています。

#### 群馬県支部の組織と役割

荒井群馬県内の介護事業者が一体となり、さまざまな問題、課題を一つずつ解決していくための窓口として活動していくことが一番の役割です。より密接な活動ができるように、地域を北毛、中毛、西毛、東毛の4つに

分け、介護における人員不足の問題、教育の問題、介護保険制度に対する問題などを解決していくための委員会をそれぞれ作り、各委員会ごとに話し合い、答えを出していきたいと考えています。県単位としては初めての支部になります。他の都道府県の模範になれるような活動をしていきたいですね。

#### 群馬県支部の今後の活動

大場まさにこれから活動を活性化していくところです。都道府県、市長村ごとの許可事業ですので、地域包括ケアシステムの構築に進んでいくにあたり、より地域色、地域ニーズが浮き彫りになり、地域ごとの役割が重要な側面があります。今まで業界内で横の連携ができるような団体がなかったわけですから、これを機に、まずは県内の事業者さんの集まりの中から輪を広げていくために会員獲得を進めながら、より多くの声を集めて本部に挙げる役割を担いたいと思います。そのひとつとして、制度に対する実サービスとの相違が生じているものに関しては、不都合な案件ほど浮き彫りにしていき、またそれをクリアするため、加盟する企業さんとのノウハウの蓄積と、県内での制度

に対するアジャストをしっかりと行っていきたくと思います。また、社会問題でもある「人材」に関して、業界がどのようにアウトプットしながら、人材の確保、継続を担っていくのか、対策を講じていきたい。最後に、有事のコロナ禍において、情報の集約や連携、アナウンスがもつてきたのは、この教訓を生かして事業者の連携を強めていけるような団体にしていければと思っております。

外丸現段階では、群馬県支部は会員が約40社ですが、県内には約4000の事業所があるので、この1年目で100社以上、3年後には400社に会員数を増やしていきたいと思っています。

#### 全国介護事業者政治連盟の 目的と活動内容

大平簡単に言いますと、全国介護事業者連盟が情報収集し、そして政府に政策提言することを後押ししていくことです。現実的に政策を通していくためには、議員の方とのコミュニケーションを通じて、その政策を実現するための行動が必要になってきます。それを強く後押しするために、こまめに政権与党の議員の方とコミュニケーションを取り、介護事業者連盟が打ち出し

た政策を説明し、理解していただくことです。そして関係省庁との関係でスムーズにそれが通るように働きかける、とにかくそれに尽きます。

小岩井宏は特別老人ホームを中心とした社会福祉法人もやっていますので、老人福祉施設議会ともうまく連携しながらやっていきたいと思っています。介護事業者連盟と老人福祉施設協議会が敵対ではなく、リンクできれば一番いいですね。

圓岡私も介護事業として関わって4年くらいですが、こういう組織ができることによって、事業をやる意味や意欲を持っているのではないかと思います。微力ですが、私も携わって頑張っていきたいと思っています。政治連盟と介護連盟の2つの団体が相互理解をすることが大前提なので、そこから進むものが楽しみです。

小岩井りょうた現時点で国会の中に介護関係は数えるくらいは議員しかいないところで、この団体が何か力を示して政府のほうに提案、提言をしていければと思っています。私も前橋の市議会議員として活動させてさせていただいているので、地方議員や国会議員の先生への橋渡し、あるいはパイプ役になれるようにこれから頑張っていきたいと思っています。



事務局長  
小岩井りょうたさん



副会長  
小岩井宏さん



副会長  
圓岡孝文さん



会長  
大平雄伸さん

